

ノリタケの森

NORITAKE GARDEN

No. 12-002-2010更新
改修・保存/外構・景観
事務所/美術館・博物館/物販/飲食

発注者	株式会社ノリタケカンパニーリミテド	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所 TAISEI DESIGN Planners Architects & Engineers	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	大成建設株式会社	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

大都市における産業立地跡地の再生

産業と文化の原風景の創造

「ノリタケの森」は、近代窯業発祥の地といえる工場跡地をリニューアルし、明治37年の創業以来ノリタケが育んできた企業文化を次世代に伝える新しい商業空間の核として、また都市の生態系ネットワークの構築と、自然の再生を図る緑の拠点として『市民が憩い、文化を発信する、新しいかたちの都市再生』を目指したプロジェクトです。



煙突広場と擁壁



せせらぎとメタセコイアの並木

アプローチ

産業遺構の継承

地域のランドスケープとして市民に親しまれていた工場の煙突群にスロープやブリッジを新設して丁寧に保存し、赤レンガ棟などの歴史的な建築物と合わせて地域の記憶の再現を図り、産業と人々との関わりの歴史を再確認できる新しい風景を創造しました。

地域のシンボルとして親しまれてきた6本煙突



(昭和45年)



産業遺構として保存・展示

明治40年代に建てられた赤レンガ棟を復元



改修前(平成14年)



CANVAS/外壁改修後(平成16年)

建物データ

所在地	愛知県名古屋市
竣工年	2004年
敷地面積	44,960㎡
延床面積	14,082㎡(5棟合計)
構造	RC造一部S造
階数	地上2~5階

コンバージョンによる施設づくり

約4万5000㎡の敷地を埋める生産施設の大半を取り壊し、残った既存の工場建屋を再利用してアウトレットショップやギャラリー、レストランなどの商業施設にリニューアルし、森の中に点在させました。訪れる人々がノリタケの100年の「記憶・存在・時間」に触れて体験できる、市民のための公園へコンバージョンしました。



〈施設構成〉

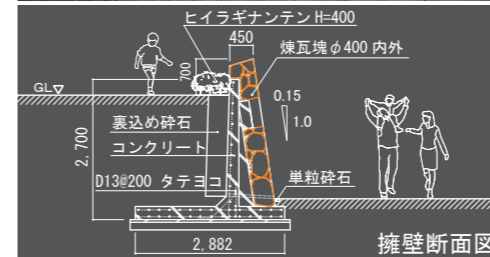
- ボックス/パレット、ステージ：ショップ
- クラフトセンター：博物館・見学施設
- セラボ：企業紹介展示施設
- CANVAS：博物館
- レストラン、ギャラリー、煉瓦塊擁壁
- 煙突広場、噴水ひろば、ケヤキ広場
- フラワーガーデン、雑木の森、ビオトープ

解体廃棄物の活用

既存工場を解体する過程で大量に発生した煉瓦塊を現場で加工し、コンクリート擁壁の仕上げに再利用しました。古い材料を新しいデザインへ変換し、歴史的エレメントの現代への再生を行うと同時に、廃棄物の場外排出の抑制を図っています。



工場の解体で発生した大量の煉瓦塊



擁壁断面図

都市の森の創造

限られた敷地に、芝生ひろば、大樹の広場、鎮守の森、ビオトープの水辺、雑木の森、フラワーガーデンなどをゾーン構成し、多様な環境空間による都市生態系の向上を図りました。



波状花壇(フラワーガーデン)



ビオトープ



豊かな緑陰



愛・地球博「風の音」



ノリタケミュージックシーン

設計担当者

ランドスケープ：蕪木伸一、山下剛史 / 建築：泰誠 / 構造：武貞健二 / 設備：延原龍雄

主要な採用技術(CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出(周辺緑地の生物相を考慮したビオトープ、地域の植生を重視した植栽計画、生態調査)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮(歴史的産業遺構の修復、再生、保存、展示)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮(水辺空間・広場・樹林などの多様な環境空間の創出、ユニバーサルデザイン)
- LR2. 2. 非再生産性資源の使用量削減(既存建築物のコンバージョン、煉瓦塊の再利用、余剰工業用水の利用)
- LR3. 2. 地域環境への配慮(大きな緑陰空間によるヒートアイランドの緩和、周辺緑地とのビオトープネットワークの構築)